

ゴッぽがから

広報



シンボルマーク



おらだちの虫おくり「さなぶり」が
緞帳にー。

毎号とじこんでください。きつとお役に立ちます。

沖飯詰小学校 1年生

写真左より前列 高橋一磨くん、秋田利徳くん、高橋裕子さん、奈良岡諒一くん 中列 吉岡裕高くん、小野剛稔くん、石谷奈津美さん、舘山かおりさん、山本江利華さん 後列 藤森良太くん、藤森大輔くん、笠井美賀子さん、吉岡寛子さん、伊藤聡相くん
(吉岡拓哉くん、外崎祐太くんは風邪でお休みでした。)

沖飯詰小学校では、校舎の中の一つの教室が、そのまま郷土室となつて、昔の農機具や、水車、エンソコなどが展示されています。子供達の作った「虫」もありました。校内研究会の課題は図工です。

地域の中の伝統を大事にする心が、今「さなぶり」の躍動となつて花、開きました。

(関連記事は、2～3頁)

2.15

No.777

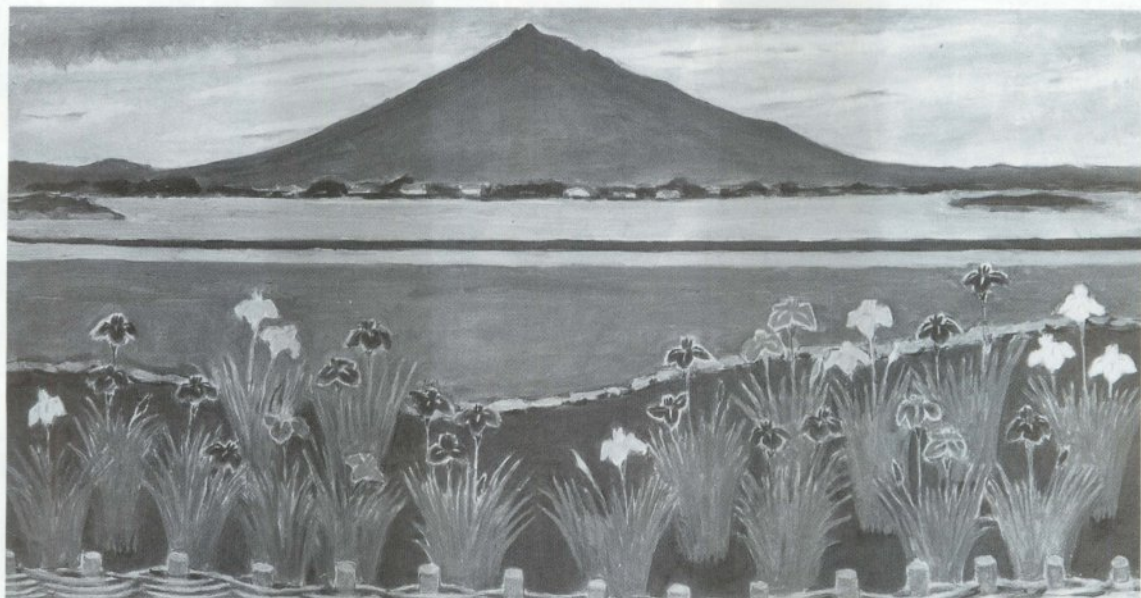
人口と世帯

		前月比
男	23,634	(-3)
女	26,294	(-1)
計	49,928	(-4)
世帯数	16,587	(-4)

(1月31日現在 住民基本台帳)

「緞帳」の原画がきまりました

大ホール・伊藤正規画伯 「津軽の風土」
小ホール・沖飯詰小学校1年一同 「さなぶり」



「津軽の風土」 仕上寸法 天地 9.8m 間口 19.6m

大ホール

大ホールについては、市内梅田出身、伊藤正規画伯（東京都在住、日展会員、光風会評議員、日本芸術家連盟委員）の、日本一姿の美しい津軽富士岩木山と、津軽平野をゆったりと流れる岩木川、色彩豊かな花菖蒲など、津軽の風土を謳いあげた原画となりました。

幾世森ヒューマンパークに建設中の、ふるさと交流圏民センター（来年の夏完成予定）の、大ホール（コンサートホール、1,109席）と、ふるさと交流ホール（多目的小ホール、408席）のシンボルとなる、緞張の原画がきまりました。

小ホール

小ホールについては、特に子供達とのふれあいが多いホールであることから、図案を西北五管内の、小・中学校から公募していたものですが、審査の結果、五所川原市立沖飯詰小学校一年生一同（十六人）による、版画（おらだちの虫おくり、「さなぶり」）が最優秀賞に選ばれ、緞張として製作されることになりました。

審査に寄せて

最優秀作品は、応募数十六校、作品一八八点の中より、次の緞帳原画選定委員会により選定されました。藤田明夫氏（向陽小学校）、平田隆一氏（大戸瀬中学校）、山谷芳弘氏（林小学校）、榎庭利弘氏（南小学校）、上田佳宣氏（市教育委員会）、西村明男氏（佐藤総合計画）。

最優秀賞の他に、優秀賞として審査された二点は、特別記念原画として今後、会館ロビーに展示、残していくものです。

最優秀賞

「さなぶり」

沖飯詰小学校一年生一同十六名

津軽新田に、伝統的に伝わるお祭り「さなぶり」を紙版画で表現。太刀振り、馬、踊

り手が画面一杯に円を描き、村人の喜び、協調性が伝わってきます。



「さなぶり」 仕上寸法 天地 6.8m 間口 13.6m

やがてくる、ふるさとの二

十一世紀が、人々の協調によつて築きあげられ、健康で明るい輝きのあるものであることを、子供らしい表現力でまとめあげた立派な作品です。

西北五地方の版画教育は、日本全国でも、最高水準にあるとの、高い評価を受けてきた伝統がある訳ですが、その中で、この「さなぶり」は、極めて優れた作品として、審査員全員の推薦を受けたものです。

優秀賞



「未来都市」 君 浩二
今井 浩二 (五小4年)

全体を青色を基調とし、その中に燃える太陽、まちは熱を利用したソーラーカーが走り、山には木、公園には噴水、空には気球、住宅環境も公害のない明るく健康的な未来都市。夢が素直に表現されていると、高い評価を受けました。



「夢のあるまち」 神成信子さん
(五一中3年)

「心、安らぐまち、みんなが一緒にしあわせになれるまち」。その希いを、「夢」「希望」「掌の輝き」など、現代的な色彩感覚で、ハッチング描法（線のタッチ）を用いて空と大地に表現、二十一世紀への思いを抽象的に表現した、中学生らしい素晴らしい作品、との評価を受けました。

奨励賞

〈小学校〉

○一年 斉藤諒(中央小)、高橋正憲(栄小)、岩崎千絵美(同)、吉岡裕高(沖飯詰小)、鳴海志乃(飯詰小)

○二年 四組一同(栄小)、成田健志(同)、下山真澄(他八名)(同)、小野公嗣(沖飯詰小)、藤森史久(同)

○三年 工藤真裕、石田勝則、外崎裕太(栄小)、今紀子、斉藤志乃、佐藤理恵(同)、野呂悠美子、渡辺美加、外崎直美

〈中学校〉

○一年 其田香保里(五三中)、木津谷麻由美(同)、藤田洋子(同)、柳原富美子(五二中)、其田しのぶ、高橋京子(五四中)

○二年 平山恵久美(五三中)、笹森麗圭(同)、鹿内恵、平山夕葵(同)、鳴海潤一(同)、原房江(五一中)

○三年 成田宣子(五三中)、斉藤友紀(同)、三上修平(同)、野上美華(五一中)、工藤千佳、毛内暁絵(同)

(藻川小)、一戸千由希、渡辺美春、一戸郁恵(同)

○四年 川浪鮎美(中央小)、高谷美智子、小田川真子(同)、神宗学(同)、鶴谷真知子(五小)、四年一同(飯詰小)、

○五年 福士裕朗、葛西隆次、外崎孝明(五小)、白取三央子(毘沙門小)、北川明香(同)、北川恵久美(同)

○六年 斉藤優(中央小)、乗田貴一(藻川小)、和田裕治、外崎源人(五小)、白戸旬(羽野木沢小)、賀谷友美(飯詰小)、北川千鶴(毘沙門小)

市の工業の姿

ご存知ですか



漆川工業団地

年次別事業所数・従業者数及び製造品出荷額等の推移

区分	事業所数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)	対前年比 (%)
昭和60年	123	2,049	3,605,310	5.7
61年	83	2,139	3,222,058	-10.6
62年	80	2,355	3,214,514	-0.2
63年	77	2,406	3,066,819	-4.6
平成元年	79	2,651	3,736,234	21.8
2年	93	2,917	4,370,994	17.0
3年	96	3,225	5,804,436	32.8

平成三年の、市の製造業は、事業所数九六事業所、従業者数三千二百二十五人、製造品出荷額等は、五百八十億四千四百三十六万円となっております。

これは、平成二年と比べて、事業所は三事業所、従業者数は、三百八人の増加となり、製造品出荷額等は、百四十三億三千四百四十二万と、三二・八パーセントの増加となり、八戸市に続く増額となり、この伸び率は八市中、最高となりました。

平成三年の従業者数、製造品出荷額等を、誘致企業の割合で見ると、従業者数では、千八百四十八人の、約六十パーセント、製造品出荷額等では、四百八十八億二千万円の八十四パーセントを占める等誘致企業の果す、地域の経済効果は図り知れないものがあります。

今後の予想として

平成九年までの従業員数及び製造品出荷額等の見込みは、近年誘致企業として立地され①現に操業しているが、まだ本格操業に至っていない誘致企業

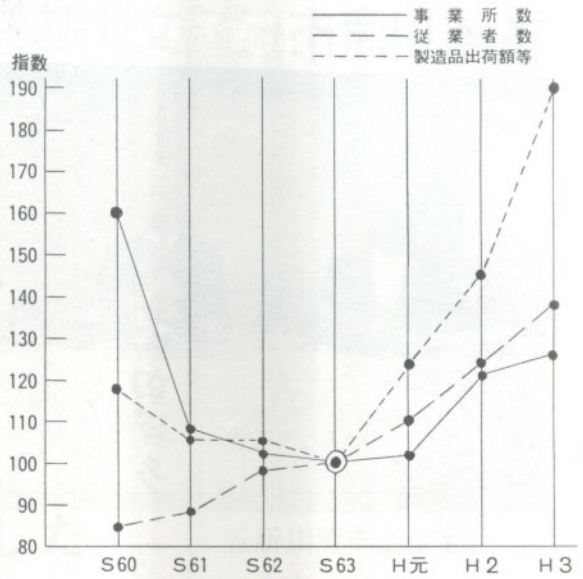
- ②今後操業する誘致企業
- ③地場企業の伸展

等から、その従業者数は、一千六百三十七人増で、四千

事業所数・従業者数及び製造品出荷額等の推移

(63年=指数100として)

区分	製造品出荷額等(千円)						
	S63年	H元年	対前年比(%)	H2年	対前年比(%)	H3年	対前年比(%)
県計	107,394	121,609	13.2	127,133	4.5	136,256	7.2
五所川原市	3,066	3,736	21.8	4,370	17.0	5,804	32.8
青森市	10,717	11,564	7.9	12,135	4.9	12,467	2.7
弘前市	9,456	10,790	14.1	11,451	6.1	11,765	2.7
八戸市	46,484	53,451	15.0	53,224	-0.4	57,403	7.9
黒石市	3,388	3,822	12.8	4,022	5.2	4,398	9.3
十和田市	4,272	4,276	0.1	4,735	10.7	5,591	18.1
三沢市	5,068	6,454	27.3	6,947	7.6	6,016	-13.4
むつ市	2,072	2,099	1.3	2,010	-4.3	2,024	0.7



八市別事業所数・従業者数及び製造品出荷額等

区分	事業所数							従業者数(人)						
	S63年	H元年	対前年比(%)	H2年	対前年比(%)	H3年	対前年比(%)	S63年	H元年	対前年比(%)	H2年	対前年比(%)	H3年	対前年比(%)
県計	2,602	2,590	-0.5	2,701	4.3	2,776	2.8	76,560	79,815	4.3	83,110	4.1	87,524	5.3
五所川原市	77	79	2.6	93	17.7	96	3.2	2,406	2,651	10.2	2,917	10.0	3,225	10.6
青森市	358	344	-3.9	356	3.5	395	11.0	8,134	8,257	1.5	8,599	4.1	9,539	10.9
弘前市	318	306	-3.8	339	10.8	350	3.2	8,020	8,310	3.6	9,021	8.6	9,783	8.4
八戸市	558	568	1.8	568	0.0	549	-3.3	19,334	20,418	5.6	20,354	-0.3	20,890	2.6
黒石市	82	85	3.7	87	2.4	92	5.7	2,893	3,104	7.3	3,240	4.4	3,199	-1.3
十和田市	127	116	-8.7	121	4.3	121	0.0	4,509	4,620	2.5	4,468	-3.3	4,622	3.4
三沢市	66	63	-4.5	62	-1.6	58	-6.5	3,004	2,919	2.8	2,997	2.7	3,002	0.2
むつ市	66	68	3.0	71	4.4	67	-5.6	1,906	1,943	1.9	1,906	-1.9	1,670	-12.4

消費税の申告と納税は三月三十一日まで
 平成四年分消費税の確定申告と納税はもうお済みでしょうか。申告も納税も期限は三月三十一日(水)までです。
 詳しくは、お気軽に最寄りの税務相談室又は税務署にお尋ねください。
 タックスアンサーのコード番号は「七八一」です。

八百六十二人となり、製造品出荷額等では、三百八十一億三千万円の増で、九百六十一億七千万円と予想されます。
 現在諸手続きを進めている青森テクノポリスハイテク工業団地漆川第二期拡張計画に伴い、更に各数値が増え、産業構造の高度化は勿論のこと、若年層の地元定着が確実に図られることとなります。
 各数値の詳細については、上の表及び図をご覧ください。
 誘致企業のお問い合わせは市総務部工業振興対策室(内線二八〇番)へどうぞ。

伝統文化の保存・発展に尽されました。

第一回 伝統文化功労表彰式

市は、昨年の暮れ、古くから伝わる伝統文化を保存し、その振興に貢献された人を表彰する、「市伝統文化功労賞」

を制定しました。二月一日、藤吉郎に於て、市伝統文化市民懇談会委員及び関係者が出席して、第一回



の伝統文化功労賞の表彰式が行われました。栄えある第一回の受賞者は、次の三名の方々となりました。

○長尾武一氏(六十九歳)

市内広田下り松

永年にわたり、市民謡協会

会長及び、西北五民俗芸能連

合会会長として、津軽民謡の

普及、発展に貢献されました。

○田澤多一氏(六十三歳)

市内川端町

永年にわたり、市のシンボ

ル「虫おくり人形」を製作、

全国に広く紹介するとともに

市虫おくり研究会会長として

虫おくりと火まつりの発展に

寄与されました。

○大邑龍雄氏(六十三歳)

市内漆川・袖掛

永年にわたり、津軽三味線

「滝柴会」会主として普及発

展に努めるとともに、積極的

に社会奉仕活動を展開してき

ました。

楽しい発表が続々—。

第19回市内児童・生徒自由研究発表会



冬休み中の、自由な研究を発表する、第十九回市内児童・生徒自由研究発表会では、参加校十校、二十一題、三十六人が、くらしの中の不思議な

ことや環境のことなどを、楽しく伸び伸びと発表、会場からは大きな拍手が送られました。

〈写真〉

津軽の人形芝居「金太豆蔵」

を研究、発表する、五小六年の、

外崎源人君(右)と和田裕治君

外崎君は、自分で作った金

太豆蔵人形で、出稼きから帰

った金太と、それを迎える豆

蔵とのやりとりを、木村幸八

さんそっくりの津軽弁で実演

してくれました。

後継者不足の「金太豆蔵」

です。外崎君、がんばって、



こわいな
「まほうつかいのおばあさん」
冬やすみ子どものつどい

一月十四日、市立図書館で行われた「冬やすみ子どものつどい」には、お母さんと一緒の小さいお子さんや保育園児、小学生など、約五十人の子供達が参加しました。

図書館の職員による、紙しばい「まほうつかいのリースヘン」や、映画「赤毛のアン」のクリスマス「山の太郎グマ」などの上演に、子供達はすっかりお話の中の主人公です。

夏休み、冬休みの期間中に開催される「こどものつどい」は、大きな夢を運んでくれる集いとして、子供達にとっても人気があります。



新しい図書が入りました

五所川原市立図書館

書名	著者名	書名	著者名
江馬務 著作集(全13巻)	江馬 務 <small>ツバ</small>	明け方の夢(上・下)	シドニイ・シェルダン
思想の海へ(全31巻)	いいだもも[他]	白 秋	伊集院 静
現代人の物理(全5巻)	佐藤 勝昭[他]	流 <small>ル</small> 香 <small>コウ</small> 譚 <small>タン</small>	黒部 亨
数学30講シリーズ(全10巻)	志賀 浩二	隣の殺人者	ラファエル・イグレシアス
現代日本語方言大辞典(1~3巻)	平山 輝男	輝ける嘘(上・下)	ニール・シーハン
ダイアナ妃の真実	アンドリュウ・モートン	魚の小骨	阿刀田 高 <small>タカ</small>
白神の四季	根深 誠	生 <small>マシ</small> 半 <small>ハル</small> 可 <small>カ</small> な学 <small>ガク</small> 者	柴田 元幸
生涯の家共生の街づくり	鎌田 清子	柳生十兵衛死す(上・下)	山田 風太郎
成功するアンケート調査入門	内田 治	聖 悪 魔	渡辺 啓助
宇宙の質問箱	西城 恵一	一生に一度だけの	ヤスコ・ハート
子供のスキーと指導	A・フレムメン	黄色い猫	吉行 理恵
日本経済の構想	田中直毅 <small>ナカノナオキ</small>	天声人語(自然編)	辰濃和男 <small>タツノワカヲ</small>
P K O 派兵	剣持一巳	橋のない川新装版(全7巻)	住井 すす系
宗教から読む国際政治	日本経済新聞社	五能線誘拐ルート	西村 京太郎
バルセロナ'92	ベースボールマガジン社	昭和のモダニズム 菊谷 栄	北の街社
懐かしの木造校舎	武田 信夫	ぜいたく列伝	戸板 康二 <small>トノイタノシロ</small>
仕事の達人百科	中川 昌彦	海 峡	伊集院 静
人生に定年はない	俵 萌子	昭和サラリーマン川柳傑作選	山藤 章二
小児科待合室のおかあさんへ	中尾 弘	さるのこしかけ	さくら ももこ



私の風景

(37)

蒔田 照明さん
(市内新町二十八)

「わが市・わが町内」

私が生れて育った、このまちは、堰の上に家が建っているところがあります。

この堰は近郷の農家では農業用水として、また、旧

この堰は津軽四代藩主信政公が、南部藤崎町より、

市内の方々は生活排水用として共に使用して来ました。

五所川原市まで開削した際、

現在では汚濁の堰として嫌われていますが、つい最

つくなされた五所川原堰に

りがとうと言えたい。その旧市内中心部には通称成田山の小公園があり、公園内の沼には名物の大きなしだれ柳があります。昔は沼の廻りに橋をかけ噴水もありましたが現在は無くなりまし

た。沼の水は近町内の防火用水にもなっています。また、すぐ近くの柳町児童公園のひょうたん池には、平和を願う観音像が建っています。その五〇位位はなれた処には、若山牧水の石碑もあり、大きな桜並木と共に、市の名勝のひとつもなっています。



市役所は、平成五年二月二十七日よりすべての土曜日が休みとなります

国や県ですでに土曜閉庁を実施していますが、当市でも市役所本庁、各支所などが「閉庁」となります。

なお、市民生活に関連の深い次の施設については、今までもおり業務を行いますので、市民の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

西北中央病院、小・中学校（毎月の第二土曜日を除く）、ゴミの収集、市民文化会館、中央公民館、図書館、市民体育館、葬斎苑、消防署など。詳しくは、ご利用の施設にお問い合わせください。

短歌

五所川原短歌会

わが前に大きな毛蟹を子は置きてその値を当てよと笑顔にて言ふ 下山 サト

暁暗の冬田の果は霧深く集落の灯がかすかに見ゆる 三上 イツ

漸くに税の申告済ませ来てコーヒー店に心安らぐ 開米 藤枝

陸果の歌碑に眞夏陽さんさんと風露の花の紫ゆるる 浜山 てい

再びなき夫と訪ひ来し蕪島に海猫の群自在に飛び交ふ 蝦名チヨノ

われの手稚魚放流の又となき時に逢ひたり墓参終へきて 番場 充映

善意の花かご



◎五所川原第一中学校へ

○晁玄産業（江良力社長） 〓図書費として十五万円

（昭和六十一年より、晁玄産業の市内各中学校への図書費としての寄贈は、この度で、百万円となりました。）

◎教育振興会へ

○しぼどの会（長尾充会長） 〓チャリティ文化公演会の益金一万六千円

◎くるみ園

○慰問 館山三弦会（弘前市）

○寄贈 田沢多一氏（市内元町） 〓木彫の仏像・板

交通災害共済受付中 年額350円

家族そろって加入しましょう!

現在加入されている方は、3月31日で共済期間が満期になりますので、早めに市役所民生部総合サービス課または各支所へ申し込みください。

特に、お年寄りや幼児の交通事故が増加していますので、まだ加入されていない方もご家族そろって加入されるようおすすめします。

▷加入できる人一五所川原市に住民登録をされている方

▷共済会費・期間一年額350円(共済時間の途中で加入する場合も同額です。)

加入申込は、2月1日から予約受付いたします。共済期間は、毎年4月1日から始まり翌年の3月31日で終わります。(途中で加入される人は、加入の日から3月31日までとなります)

▷その他一・小・中学校の児童生徒については、各学校を通じて受け付けをしています。保育所、職場、町内会、各種グループなど20人以上が加入される場合は、団体の取り扱いをします。

共済見舞金の額

災害の程度		等級	金額
死亡した場合		1	1,000,000円
実治療日数 180日以上で	入院180日以上を含む	2	150,000円
	入院90日以上180日未満を含む	3	130,000円
	入院90日未満又は入院なきものを含む	4	110,000円
実治療日数 90日以上 180日未満で	入院90日以上を含む	5	80,000円
	入院90日未満又は入院なきものを含む	6	60,000円
実治療日数60日以上90日未満		7	45,000円
実治療日数30日以上60日未満		8	35,000円
実治療日数10日以上30日未満		9	25,000円
実治療日数10日未満		10	15,000円

虫号・ねぶた号

熱気球飛行訓練 消防署

平成5年2月18日～3月25日

火災予防広報、交通安全広報、暴力追放広報及び、市内上空からの実態調査のため飛行訓練を行います。

訓練月日	曜日	飛行時間	広報内容
2月18日	(木)	6:30～8:30	火災予防
2月25日	(木)	6:30～8:30	交通安全
3月4日	(木)	6:30～8:30	火災予防
3月11日	(木)	6:30～8:30	暴力追放
3月18日	(木)	6:30～8:30	火災予防
3月25日	(木)	6:30～8:30	交通安全

※訓練日時は、天候等により変更または、中止する場合があります。

つくろうよ

緑の街は ユートピア

五三中1年 小田桐昭恵

「燃えるゴミ、

「燃えないゴミ」の再確認

五四中2年 浜館加代子

「住みよい環境をつくる」標語の部 特別賞

第11回 津軽大凧を揚げる大会

厳寒の空に凧の
ブンブが響く
▽とき
平成5年2月二十八
日(日)
▽ところ
五所川原農林高校実
習田(市内一野坪・
津軽鉄道五農高駅前)
主催 津軽カイトクラ
ブ・陸奥新報社

エルムの街(仮称)
実施計画基本構想の
説明会を開催します

皆様多数ご参加下さい。

▽日時 平成5年2月二十四日(水)

○十時より十二時まで

五所川原市内商業関係者

○午後一時三十分より三時三十分まで

五所川原市外商業関係者

▽場所 五所川原市中央公民館大ホール

▽問い合わせ 五所川原街づくり(株)事務局

☎〇一七三—三三—〇四一—

生活講座受講生募集

◆料理教室

○ひな祭り料理 (楽しいひな祭り料理を)

▷日時 2月25日(木) 午前10時～正午まで
2月26日(金) 午前10時～正午まで

▷募集人員 どちらも定員16名

▷対象の方 市内に住所または勤務先を有する
婦人

▷締切日 先着順で定員になり次第締切ります。

▷受講料 無料 (材料費は各自負担願います)

▷申し込み及び問い合わせ先

新町 働く婦人の家 (☎35-8898)

国民年金の保険料、 納め忘れ、ございませんか

国民年金保険料を毎月、
忘れずに納めていますか。
「わざわざ納めに行くのが
面倒だ」、「あとでまとめて
納める」などは保険料の未
納につながりやすいもので
す。こんな方は、保険料を
定期的に集金してくれる、
それぞれの地区の国民年金
保険料納付組織に加入する
と納め忘れがありません。
老齢基礎年金は、二十歳
から六十歳までの四十年間
全てが保険料納付済期間で

あれば満額ですが、保険料
未納期間があるときは、そ
の月数に応じて年金額が減
額されます。また、保険料
未納期間があるために障害
基礎年金、遺族基礎年金が
受給できないことがあります。
いつかは必ず迎える老後
に備えて、また、もしもの
時のために保険料は毎月納
めるように心がけましょう。
▽問い合わせ
国民年金課(二五八)

固定資産の確認は 課税台帳の縦覧で!!

縦覧とは、固定資産(固定資産税、都市計画
税)の課税の基礎となる価格等を、納付書をお
送りする前に、あらかじめ所有者に確認してい
ただくため、期間(20日間)を設け、課税台帳
を無料でご覧いただく制度です。縦覧期間以外
でもご覧になれますが、有料となります。

ご覧になった事項及び価格などに不服がある
場合には、3月31日までの間に、固定資産評価
審査委員会に審査の申出をすることができます。

特に、昨年中に家屋を新・増築されたり、土
地を取得された方は必ず縦覧しましょう。

1.縦覧の期間

平成5年3月1日(月)から平成5年3月22日(月)
(土曜・日曜・祭日は除きます。なお、今年
は縦覧期間の最終日が祭日のため、3月22日
までとなります。)

2.縦覧の場所

五所川原市役所3階 財政部税務課内

▷問い合わせ 税務課(内線201・206)

「にせ税理士」に
注意!
税理士の資格のない人が申告書
の作成などをする、「にせ税理
士」として、法律に違反するだけ
でなく、依頼した方に迷惑をかけ
る結果になることが多いので、確
定申告の時期には特にご注意ください。
タックスアンサーのコード番号
は「九五五」です。

マイホームの資金は 年金住宅融資を

▷利用できる方 厚生年金保険の加入期間が3
年以上ある方。

▷資金の用途 新築住宅、マンション・建売住
宅購入資金。

▷融資金額 所要資金の80%以内で最高1,940
万円まで。

▷融資利率 年4.76%

▷返済期間 5年から35年まで。

▷申込受付期間 今年度第4回=1月25日~3
月12日まで。

▷お問合せ先 県保険課・県厚生年金勤労者住
宅協会 ☎0177(73)2077へ。

雇用促進住宅への入居者募集!

鉄筋コンクリート造り(3DK・2DK・2
K)、バス・トイレ付きの近代的な住宅。

◇入居できる方◇

- 1.雇用保険の被保険者である方。
- 2.家賃等の支払能力のある方。
- 3.同居する扶養親族のある方。(宿舎によっては
単身者でも可能)
- 4.確実な連帯保証人のある方。(原則として就職
先の事業主)
- 5.その他いろいろな事情などで住居を必要とする
方。

▷問い合わせ 公共職業安定所、または青森雇
用促進センター(青森市長島2丁目19の1、
青森東京海上ビル7F) ☎0177-77-1234



3月の保健センター相談日

- 3月5日、12日、19日、26日です。(毎週金曜日)。
 ▷時間 午前10時から午後3時まで。
 ▷内容 血圧測定、尿検査等を含めた健康相談に応じますので、赤ちゃんからお年寄りまでお気軽にご利用ください。

乳幼児の健康診査

- ▷場所 市保健センター
 ▷受付時間 12:30~12:45まで
 ▷持参するもの 母子健康手帳、バスタオル。
 3歳児には個人通知いたします。同封のアンケートに記入して、尿を小ビンに入れて持参ください。転入者の方、不明な点はご連絡ください。
 ※注意 ①6ヵ月健康相談につごうで来なかった場合は、神経芽細胞腫(小児がん)の検査セットを、母子健康手帳を持参のうえ保健環境課窓口にもらいにきてください。(6ヵ月、7ヵ月児に限る。)
 ②病気療養中(特に伝染性の病気)のおこさんはご遠慮ください。

献血

期日	時間	場所
2月25日 (木)	午前9時30分から 午前11時30分まで	吹畑 津軽東芝音響棟前
	午後1時から 午後4時まで	白生会胃腸病院前

からだにやさしい血漿成分献血

期日	時間	場所
3月9日 (火)	午前10時から 午後3時まで	市保健センター 2階軽運動場

成分献血の実施方法が変わります

成分献血専用車を使用することになりました。
 実施する場所、時間には変更ありませんが、実施順序に少々変更がありますのでご確認ください。

順序

- ① 受付……………(保健センター内の部屋において)
 - ② 血液検査のための採血……………(同上)
 - ③ 医師による問診・血圧測定……………(同上)
 - ④ 採血……………(成分献血専用車において)
 - ⑤ 採血後の休養…(保健センター内の部屋において)
- 今後とも変わらぬご協力をお願いいたします。

月 齢	対象児	期日	内容
3ヵ月児	H4年 11月生まれ	3月9日(火)	健康診査
6ヵ月児	H4年 8月生まれ	3月16日(火)	健康相談
1歳児	H4年 2月生まれ	3月22日(月)	健康相談
1歳6ヵ月児	H3年 9月生まれ	3月23日(火)	健康診査
3歳児	H元年 9月生まれ	3月18日(木)	健康診査

▷問い合わせ 保険環境課 268

「エイズ」に関する 学校開放講座を開催します

高等学校の教育機能を地域のみなさんに開放し、エイズに関する正しい知識の普及につとめます。

- ▷日時 平成5年2月20日(土) 13:00~
 ▷場所 五所川原高校
 ▷講師 斉藤春雄医院長(斉藤産婦人科医院)
 ▷参加対象 開催校PTA会員・地域住民等
 ▷内容 エイズの基礎知識(性指導を含め)について、150分程度、講義やビデオ視聴による学習をします。
 ▷問い合わせ 青森県教育庁社会教育課
 ☎(0177)22-1111 内線5194

くるみ園(市立養護老人ホーム) 入所者作品展覧会

- 1.日時 平成5年3月10日(水) 10:00~15:00
- 2.場所 養護老人ホームくるみ園内
(幾世森165-1番地)
- 3.地域の皆様の作品展コーナーもありますので、出品のご協力をお願いいたします。
(申し込みは3月2日までにお願いいたします。連絡先 ☎34-2721 担当:佐藤)
- 4.当日は、食堂にて模擬店(うどん、生そば、おしるこ)を開いていますので、ご利用下さい。



干し餅をかじると 遠い日がかえってきます。

昔なつかしい干し餅が、今もそのままありました。パリッとした干し餅づくりには、凍てつく北西の風と、マインス三度以下のキリキリする凍れがほしい。一気に凍らなると、出来た餅はポロポロと割れてしまう。

二月一日、午後四時、「今夜だば、冷えるんたな」

伊藤博治さん(市内俵元)のひと声で、いつせいに餅を外へ出す加工所のみなさん。この冬は、五十俵のもち米を冷え込みに合わせて、三回に分けての干し餅づくりとなりました。

ひと晩で、一気にカチン、コチンとなった餅は、ノマ(ワラで編んだ覆い)に包まれながら、三月の彼岸まで、雨、風、雪、太陽の自然をいっぱいを受け、一日、一日と、あつ、さくさくとした干し餅へと変身していきます。



外は北風、中は活気でホカホカです。

三上誠一郎さん(七十歳)
「写真」が発明した世界中にただ一台という、モーターつきの「餅切り機」。
労力、時間も二三分の一、切り口も揃ってきれい、と評判です。
餅切り機を作ってほしいと沢山の需要があるので、ご本人、今のところ、餅を切る方が忙しくて、このことでした。